

開館20周年記念 企画展

# 銀幕の 有 三 文 学



「女の一生」  
昭和8(1933)年 中央公論社  
装幀：中村研一

2016年 2017年  
9月16日(金)～3月20日(月・祝) 三鷹市山本有三記念館

入館料：300円(20名以上の団体200円)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は開館) ※9/20・21、10/11・12、12/29～1/4、1/10・11は休館

開館時間：午前9時30分～午後5時

中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料。「東京・ミュージアムぐるっとパス」を利用できます。

主催：公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団／三鷹市 協力：畑三郎コレクション





開館20周年を記念する本展では、  
映画化された有三作品を取りあげ、  
有三作品のドラマ性に光を当てます。

作家・山本有三「一八八七—一九七四」は、「いかに生きるか」を創作のテーマとして描き続けた。小説家としての地位を確立した「波」は、小学校教師・見並が我が子の出生の秘密に悩みながらも内面を成長させていく様子を、揺れ動く波に重ねあわせています。家族との板挟みになりながら、信念に従って生きようとする家族を描いた「真実一路」、有三の代表作として知られる「路傍の石」は、吾一少年が貧困や母との死別など、数々の苦難を乗り越えて成長していく物語です。様々な主人公の人生を通して、生き方を問う有三作品はドラマティックな要素を含んでおり、「生きとし生けるもの」と「真実一路」は2度、「路傍の石」は4度も映画化されました。

昭和を代表する監督・五所平之助、中村登、家城巳代治らがメガホンを握り、淡島千景、佐分利信ら名俳優によって演じられた有三作品を、多彩な映画資料でお楽しみください。

イベント I

映画化された有三の名作二作品が蘇る！！  
続小説を、観る。

2016年11月19日（土）

「路傍の石」(97min) 監督：家城巳代治 1964年 昼の部11：00～/夜の部16：00～

「真実一路」(141min) 監督：川島雄三 1954年 昼の部13：05～/夜の部18：05～

チケット発売日：会員10/13(木)、一般10/14(金)

会場：三鷹市芸術文化センター（東京都三鷹市上連雀六丁目12番14号）

電話予約 0422-47-5122 / インターネット予約 <http://mitaka.jpn.org/ticket>

イベント II

山本有三記念館・三鷹ネットワーク大学共催講演会  
映画と文学（仮題） \*お1人様1応募限り。

2016年12月11日（日）14：00～15：30 講師：畑 三郎（映画史研究家）

定員：50名（応募多数の場合は抽選）

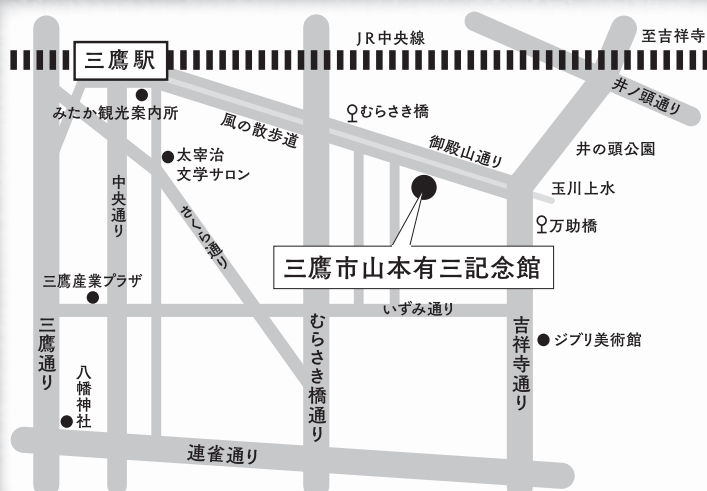
応募方法：往復はがきに①参加者氏名(2名様まで)、②代表者の住所・電話番号、③何を見て知った(応募した)か、

④返信用はがきに宛先をご記入の上、山本有三記念館講演会係までお送りください。

締切：定員に達し次第終了（募集状況は記念館までお問い合わせください）。

ボランティアガイド

土・日・祝日の午後1時～4時に解説を行っています。事前申込は不要ですので、お気軽に声をおかけください。



[会場・問合せ]

三鷹市山本有三記念館

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀2-12-27

電話：0422-42-6233

ホームページ：<http://mitaka.jpn.org/yuzo/>

電車

- JR中央線「三鷹駅」南口より徒歩12分
- JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」南口（公園口）より徒歩20分

バス

- 三鷹駅南口よりみたかシティバス「むらさき橋」下車徒歩2分
- 吉祥寺駅南口より小田急バス「万助橋」下車徒歩5分